

文化・交流—新しい地域創造

# ロゼ

文化情報誌 ロゼ

Art information of Fuji city Vol.19  
SPRING  
Culture Magazine ROSE 1997

春号



vol. 19



# ロゼ

富士市文化情報誌 ロゼ 1997年4月発行 (第19号)  
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416 富士市夢原1307番地の8 TEL (0545) 60-2510(代)  
企画・編集・制作 (財)富士市文化振興財団事業課広報係 アドスペース エービック株式会社

# 煌めきの響音・舞芸術

97ロゼ音楽公演

クラシックってわからない？バレエって女性が見るもの……なんて思っていますか。一度ロゼに足を運んで見て下さい。世界のアーティストがあなたを変えられるかも……。

## ブラームス没後一〇〇年記念コンサート 新日本フィルハーモニー交響楽団

7月10日(木)大ホール 開演19時  
指揮 井上道義(指揮)  
出演 新日本フィルハーモニー交響楽団  
プログラム  
モーツァルト「交響曲第4番ホ短調Op.58」から  
ブラームス「交響曲第4番ホ短調Op.98」

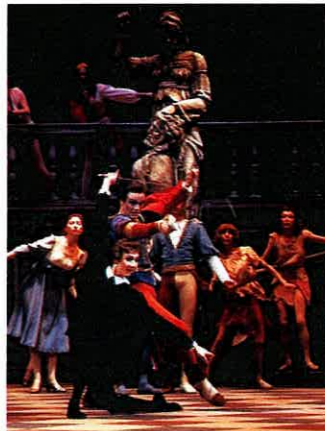


指揮/井上道義

新日本フィルハーモニー交響楽団といえは、今年一月に行われた小林研一郎指揮によるコンサートが記憶に新しいところです。うなる弦、吠える管、大ホール一杯の聴衆を興奮のつばへ叩き込んだその演奏は、新フィルの新しい魅力を引き出したものとして忘れられない公演となりました。そしてまだ熱気がさめやらぬ七月十日、今度は人気、実力とも指揮界随一のマエストロ井上道義を迎え、

## ポリシヨイバレエ団 「ロミオとジュリエット」

10月14日(土)大ホール 開演18時  
芸術総監 監 舞 V.V.ワシリエフ  
芸術監督 舞 V.V.ワシリエフ  
主なソリスト(予定) N.クラチヨワ、G.ステパネンコ、I.ベトローワ他  
バレエ団一行160名  
オーケストラ 関西フィルハーモニー管弦楽団



ロゼシアターのバレエ公演は世界の超一流のバレエ団を招へいすることで定評があります。これまでロシアからキエフ・バレエ(くるみ割り人形、眠れる森の美女)、グリゴロヴィッチ・バレエ団(白鳥の湖)、英国からロイヤルバレエ団(ジゼル)を招いており、お客様から大好評を頂いてきました。

今年招く予定のロシア国立ポリシヨイバレエは、創立二〇〇年を越えるクラシック・バレエの最高峰といわれているバレエ団です。まさに満を持しての登場といえるのではないのでしょうか。現在、世界のバレエ界はロシアの二大バレエを頂点として形成されていると言っても過言ではありません。すでにお馴

## ブラームス没後一〇〇年記念コンサート ベルリン放送交響楽団

11月1日(土)大ホール 開演19時  
指揮 ラファエル・フリーベック  
出演 前橋汀子(ヴァイオリン)  
ベルリン放送交響楽団  
プログラム  
ブラームス「ヴァイオリン協奏曲ニ長調Op.77」  
ブラームス「交響曲第一番ハ短調Op.68」



指揮/ラファエル・フリーベック・テ・ブルコス

バッハやベートーヴェンが生まれ育ったドイツはクラシック音楽発祥の地として知られています。ベルリン放送交響楽団は、この国のラジオ放送局の専属オーケストラとして一九二四年に設立されました。ドイツの首都ベルリンは、第二次世界大戦以降東西に二分されましたが、コンサート活動は盛んで四十六年頃からベルリン・フィルに象徴されるようにベルリンの名を付したオーケストラが五つも存在しました。ベルリン放送は旧東にあつてドイツ独特の暗い音色、重厚な響き特徴で、ドイツ系クラシックの代表オ

## 羽田健太郎 & 新星 POPS オーケストラ

98年2月21日(土)大ホール 開演19時  
指揮 羽田健太郎(ピアノ)指揮、トニー・新星 POPS オケストラ



「オーケストラ」というと一般的にクラシックの印象が強いのですが、演奏形態を少し変えるだけでそのパリエーションは実に豊富になります。

来年二月に来演が決まった「羽田健太郎 & 新星 POPS」はまさにそれが実証されるコンサートです。羽田健太郎といえばハネケンの愛称で親しまれテレビレギュラー番組を何本も持って、達者なピアニストぶりがお馴染みとなつていますが、その明るくユーモアに富んだ人間性とジャンルにこだわらない音楽作りは、まさにマルチアーティストそのもの。一方、新星 POPS オケストラは、

新フィルは装いも新たに私たちの前に登場します。ロゼに初のお目見得となるマエストロ井上は、国内外を股にかけ活躍する指揮者で新フィルの音楽監督を務めたこともあり、レパートリーはオペラからシンフォニーまで幅広く、聴衆を退屈させない指揮者として定評があります。当日は、今年没後一〇〇年を迎える作曲家ブラームスに因んで、孤高の名作と評判の交響曲第4番を演奏する予定です。

この曲は、彼の晩年の作で流れはあくまで寂しく、また一方で心に慰めを感じさせるものとなっております。その奥底には、晩年のブラームスの姿が映し出されているかのようです。ゆったりとした気持ちでお聴き頂きたいところです。



指揮/井上道義

コンサートの前半は現在の日本を代表するバリトン歌手福島明也を迎えて、ロッシニーとモーツァルトの歌劇から有名なアリアをお楽しみ頂きます。このソリストは最近京都において井上道義指揮により「コロンゴルド作曲の歌劇『死の都』」で名唱を聴かせており、最初から目の離せないステージとなりそうです。



染みとなつているキエフバレエが貴族的で洗練された雰囲気になつて

いるのに対し、ポリシヨイはリアルで演劇性が強く、古典作品の改訂、新作上演を積極的に取り入れるなどして常に世界中から脚光を浴びているバレエ団です。この度の作品「ロミオとジュリエット」も、映画に舞台にと数多くとり上げられている有名なシェークスピアの原作によるものです。

一九五六年、ポリシヨイ劇場バレエ団は「ロミオとジュリエット」を作者の母国イギリスで上演し、大成功をおさめたことにより世界的名声を獲得しました。《ポリシヨイ・バレエ》と称されるようになったのもこの時からです。この記念すべき名作をひきつけて、クラシックバレエの本流のポリシヨイバレエがロゼに登場します。

全三幕、若き男女の純愛劇を中心にシェークスピア独特の悲劇の奥深さが伏線となつて展開される絢爛たるバレエ・フレスコ(壁画)、どうぞご家族お揃いでお楽しみ下さい。

オーケストラとして人気を集めてきました。日本でも七三年に首席指揮者に就任したハインツ・レーグナーによりブラームス、ベートーヴェン、ブルックナーの交響曲などが評判となつています。九〇年十月のドイツ統一後もZDF(ドイツ第二放送)の専属オーケストラとしてその演奏はますます深みを増し、九三年スペイン出身の指揮者ラファエル・フリーベック・デ・ブルゴスを迎えたことがさらにレパートリーをふやすことにつながりました。

今年、ドイツの作曲家ブラームスの没後一〇〇年、この時期に訪れるベルリン放響の重厚な演奏はまさにおあつらえ向き、ロゼ開館記念日の十一月一日大ホールは、ブラームス一色に染まりま



ヴァイオリン/前橋汀子

す。またこの日ソリストとして、日本の女流ヴァイオリニストの最高峰前橋汀子さんが出演します。すでに四年前ロゼのオーブニングコンサートでその名演は披露済みですが、この夜ベルリン放響との共演は自

### MESSAGE

ロゼシアターも今年で四年目の春を迎えました。昨年の開館三周年記念事業では、皆様の大きなご支援により全てのプログラムを成功裏に終了することができました。ありがとうございました。

この三年間の様々な方々との出会いの中で、何よりも私たちが心を強くするのは、県外の熱心なお客様にお出でいた

くことにも増して、地元の皆様を何度となくお迎えすることができたことです。お馴染みのお客様が日に日にふえています。「ロゼファン」の雲が生まれ落ち、水面にしなやかに波紋を描いていくような広がりを私たちはいつも感じています。

こうした皆様の声援をいただき、今年も確かな足とどりで五周年に向けて歩んでまいります。



ピアノ/羽田健太郎

日本のクラシックオーケストラの雄として、もてもての新星日本交響楽団を母体に九一年二月結成されたエンターテイメント集団で、気軽にくつろぎながらポップスを楽しむにこれ以上のものはありません。このオーケストラに、九四年の秋、ミュージック・ディレクターとしてハネケンが就任、「羽田健太郎 & 新星 POPS」シリーズがスタートしました。以後このコンビで、各地にコンサート活動を展開、ロゼでは、肩の凝らない聴き慣れたクラシックの名曲やポップスをハネケンのピアノとユーモアあふれるトークを交えて演奏することになっていきます。当日はクラシックファンのみならず普段オーケストラをあまり聴かない方でも、気楽に生のオーケストラサウンドをお楽しみいただけることを保証いたします。どうぞ、ご家族お揃いで、絶妙なポップセッションをご堪能下さい。

# ロゼ・オリジナルプログラム

ロゼシアター開館4年目を迎えた現在、利用者も162万人を越え、富士市民をはじめ皆様に地域の文化施設として、すっかり定着してまいりました。この間、自主事業も年間40本近い催し物を開催し、お客様から感嘆の声をいただいております。「よりすばらしい公演を皆様に…」ロゼシアターでは、今年度も独自のプログラムを企画し、更なる感動をお届けします。



曾根麻矢子(チェンバロ)

## ロゼオリジナルプログラムI

◆ロゼイヴニングコンサート

### “美しきミューズたちとの出会い”

ロゼイヴニングコンサートはこれまで、「気軽にクラシックコンサート」と昨年「恋する作曲家たち」昨年は「音楽の都をたずねて」というテーマで四回シリーズでコンサートを行ないました。毎回作曲家や曲目の解説をまじえながら楽しめるコンサートとして、皆様から好評をいただきました。今回は「美しきミューズたちとの出会い」と題し、音楽界でひととき美しく人気と実力を誇る三人の女性アーティストによるオリジナルプログラムです。女性ならではの繊細で華麗な響き、時には男性にはない激しくするどい演奏など女性ソリストの魅力をも十分に鑑賞してください。



山形由美(フルート)

## ROSE ORIGINAL PROGRAM

### 「歌曲王」シューベルト生誕二〇〇年記念

◆ フランツ・シューベルトは歌曲の第一人者としてまた室内楽、器楽曲の分野で抒情性に富んだ名曲を残した巨匠です。

◆ シューベルト音楽の神髄を本場ドイツ演奏陣でお届けします。

### ロゼオリジナルプログラムII

8月1日(金) 小ホール  
開場18時30分 開演19時

一九九七年はF・シューベルト生誕二〇〇年、J・ブラームス没後二〇〇年とそれぞれの記念の年にあたります。ロゼシアターでも記念コンサートとして、十二月のベルリン放送交響楽団によるブラームス特集、七月には新日本フィルハーモニー交響楽団によるブラームス交響曲第四番の演奏、八月にはダルムシュタット・アンサンブルによるシューベルトプログラムをお送りいたします。

ダルムシュタットアンサンブルはドイツのダルムシュタット国立歌劇場管弦楽団首



◆ヴァイオリン  
インゴ・デ・ハース



◆ヴァイオリン  
山田百子



◆ヴィオラ  
瀬尾 麗



◆チェロ  
岩本忠生



◆コントラバス  
大西雄二



◆ピアノ  
加藤洋之

### ◆第一夜 9月15日(月)小ホール開演19時

#### 曾根 麻矢子 チェンバロ

MAKAO SONE

チェンバロの妖精曾根麻矢子。ロゼイヴニングコンサート第夜を飾るのは、チェンバロ界のホープ曾根麻矢子の登場です。彼女の軽やかで繊細な演奏はチェンバロの持つ表現の可能性をますますとなく引き出してくれます。パワック音楽のメルヘン的な音色をお楽しみください。

#### PROFILE

東京出身、桐朋学園附属高校ピアノ科卒業。高木茉莉、寺西昭子の両氏に師事。在学中よりチェンバロに興味を抱き、鍋島元子氏に師事、一九八三年より通奏低音楽者として演奏活動を開始しました。一九九二年にはフランス・イタリア、東京での開催のソロデビューリサイタル「ゴールドベルク変奏曲」と共に大きな話題を呼びました。現在は、ヨーロッパの他一九九四年以来日本でもソロ、コンチエルト等、数多くの演奏会やテレビ、ラジオ出演、エッセイの執筆など多才ぶりを発揮しています。一九九六年三月には第六回出光音楽賞を受賞。



向山佳絵子(チェロ)

### ◆第二夜 10月18日(土)小ホール開演19時

#### 向山 佳絵子 チェロ

KAEO MURUYAMA

チェロ界のプリマ向山佳絵子。東京芸大在学中より、リサイタルに出演し脚光を浴び、今では女性チェリストとして、大活躍です。彼女のスケールの大きなその音楽性は、次代を担う存在として各方面から高い評価を得ています。豊かな情感と個性溢れる演奏をお楽しみください。

#### PROFILE

東京出身。九才よりチェロを始め松波恵子、故堀江泰氏、リーヌラフジョー、毛利伯郎の各氏に師事。一九八七年東京芸術大学入学。東京文化会館にて初のリサイタル。一九九〇年ドイツ・リューベック国立音楽大学に留学し、D・ゲリンガースに師事。一九九二年一月にはNHK交響楽団の若い芽のコンサートに出演し、高い評価を受けました。三月には第二回出光音楽賞受賞。N響、日フィル、東フィル、読売日響など主要オーケストラとの共演等、多彩な演奏活動を行なっています。その演奏は、大胆でスケールが大きく、今後の活動が大いに期待される女流チェリストとして注目を集めています。

### ◆第三夜 11月29日(土)小ホール開演19時

#### 山形 由美 フルード

YUMI YAMAGATA

フルートの歌姫山形由美。暖かな人柄とその知的な風貌は、全国多くのファンから高い好感度を獲得しています。内外のコンサート活動からテレビ出演まで、幅広い人気と実力をもつ彼女の魅惑のフルートの世界をお楽しみください。

#### PROFILE

東京出身。東京芸術大学にてフルートを専攻。卒業後直ちに英国へ留学。これまでに野口博司、小泉剛、吉田雅夫、J・ゴールウェイの諸氏に師事。一九八六年のレコードデビューと同時に演奏活動を始め、全国各地でのソロ活動に加え都響、読売日響、日フィルなど殆ど全ての主要オーケストラとの共演を行なっています。精力的なこれらの活動を通して広く人々の関心を集め、フルート愛好者を増やしたフルーティストのひとりと言われています。昨年は演奏生活十周年を迎え、意欲的なプログラムによるリサイタルツアーを行い、今最も注目されるフルーティストとして話題を呼んでいます。

平成8年度後期自主事業(11月から3月まで)を、それぞれの催物に寄せられたアンケートをもとにフラッシュバックしてみました。  
市民合唱「見よ西風からの富士」は前号で紹介したため割愛しました。(※サインは出演アーティストからいただいたものです)



落語二人会「三遊亭圓歌・圓丈」

3月8日(土)

音道神心  
落語神心  
26日  
1997.1.25

VOICE

- 圓歌・圓丈ともにそれぞれの持ち味を出してとても良かった。(富士61歳男性)
- 久しぶりに腹の底から笑わせてもらいました。日頃のストレスも吹っ飛びました。(富士50歳代女性)



三曲邦楽演奏会

1月25日(土)

三曲邦楽演奏会  
米山綾子 1997.1.25  
米川裕枝

VOICE

- 優しい響きの中に気品が深い、素晴らしい演奏会でした。(富士30歳代女性)
- 日本の音楽の美しさを満喫いたしました。(富士65歳女性)

米山綾子(琴)・米川裕枝(三弦)・山本邦山(尺八)  
1997.1.25  
米川裕枝  
竹山道歌

# FLASH BACK Event Report

第4夜・オーストリア 3月6日(木)  
クラウス・シルデ(PF)

VOICE

- 力強い演奏、淡々とした表情。ピアノの音だけの世界に酔いしれることができ、とてもうれしく思いました。(富士30歳代女性)
- 気がついてみれば花粉症を忘れていました。(富士31歳女性)



ロゼ「FUJIMI」コンサート

12月24日(火)



VOICE

- チャイコフスキーのエピソードのいくつかを聞くことによって違った角度で鑑賞できる。(富士50歳代女性)
- ご夫婦で息の合った演奏にすっかり引き込まれてしまった。(富士60歳代女性)



カプリシオランドオーケストラ

11月16日(土)

VOICE

- 青春時代を思い出し、胸がキュンと熱くなり涙がこぼれそうになりました。(富士45歳女性)
- 素晴らしいサウンドが五臓六腑を駆け巡りました。(沼津63歳女性)
- お洒落なフレンチポップスを十分堪能しました。(富士37歳女性)



南アフリカセッションコンサート

3月12日(水)

VOICE

- ステキな時間をありがとうございました。久しぶりにコンサートに来て血液が新しくなったような気がします。(沼津40歳代女性)
- トークも面白く、心あたたまるコンサートでした。(富士40歳代女性)

1997.3.12

新日本フィルハーモニー交響楽団

1月29日(水)



小林新一郎(指揮)・園田高弘(PF)

VOICE

- 湧き出るようなオーケストラの美しいハーモニーと迫力に酔いしれました。(富士70歳男性)
- 小林さんの人間性あふれる指揮、息使いまで伝わってきて舞台と客席が近くに感じられました。(沼津42歳女性)

1997.1.29  
園田高弘

爆風スラング

1月17日(金)



VOICE

- 年明け早々、大ヒット曲「旅人よ」をひっつけ爆風パワート全開のコンサート。トークでは大人気のお笑いコンビ「猿岩石」との裏話も聞かせてくれました。

キロババレエ「眠れる森の美女」

12月7日(土)

VOICE

- 華麗な衣装、ドラマティックなバレエでとても感動しました。(富士30歳代女性)
- 予想を覆す配役で得した気分で見せていただきました。(富士20歳代女性)
- 子育てに追われる毎日の中でこの数時間が夢のようでした。(富士28歳女性)



1997.12.7



シンシラーオーケストラ

3月26日(水)

VOICE

- スイングの時代を謳歌した我々の年代にとっては久しぶりに充実した気持ちを味わうことが出来た。(富士63歳男性)
- 音楽というものはその時、あの時代にタイムスリップする魔物だと痛感します。(富士61歳女性)

1997.3.26

## EXHIBITION 展示



VOICE

- 日常の延長で美しいものに会えることがとてもうれしい。(富士46歳女性)
- ファンタジーなものから宇宙を感じるものなど作城が広く、感心しました。(富士65歳男性)

第34回朝日陶芸展

1月30日(木)~2月16日(日)



VOICE

- 色彩の暖かさ、リズム感を強く感じました。(富士39歳女性)
- 心が安らぎ、ずーっと見ていたい気がしました。(富士36歳女性)

静岡県芸術祭 美術部門優秀作品展

12月7日(土)~23日(日)



VOICE

- 「鉄」という素材がこんなに表情豊かなものであるのに驚きました。(静岡23歳男性)
- 外に置いてある姿も見たいものです。きっと風の音を感じるような気がします。(富士31歳女性)

御宿至彫刻展

11月9日(土)~12月1日(日)



お話し/津村禮次郎

VOICE

- 能のことは全く知りませんでしたが、知れば知るほど奥の深いものだと思います。(富士27歳女性)
- 能の衣装の模様を知って、日本の文化の深さを改めて知りました。(庵原郡60歳代男性)
- 以前よりこのような企画がないかと心待ちにしていたので、とても喜んでます。今後ともこうした企画を是非お願いします。(富士50歳女性)



能の誘い(能面と衣装)

1月18日(土)

(能と音楽)

2月8日(土) (古典から新作へ) 3月15日(土)



中野宜夫  
1997.2.8



富士見高校吹奏楽部 中国嘉興市訪問壮行演奏会

12月13日(金)



VOICE

- 「FUJIMIサウンドを中国嘉興市へ」をキャッチフレーズに、富士市と友好都市を締結している嘉興市への想いを込めての演奏会。中国を意識したプログラムで訪中を前に、ロゼにFUJIMIサウンドが響きました。

流木

はの時代に対して

素材

である

といふことは言えると思う。

山梨県富沢町にアトリエをかまえ、中央での活躍も目覚ましく、昨年は国内のみならず、ヨージ・ヤマモト氏とのコラボレーションで海外にも進出、今もとも注目を集めるアーティストとして活躍している岩崎永人さん。

ロゼシアターでは、6月20日(金)より29日(日)まで「TORSO〜45来未古代」と題し、岩崎さんの造形作品展を開催します。たくさんのトルソが並ぶアトリエに岩崎さんを訪ねトルソと今回の展示についてお話を伺ってきました。

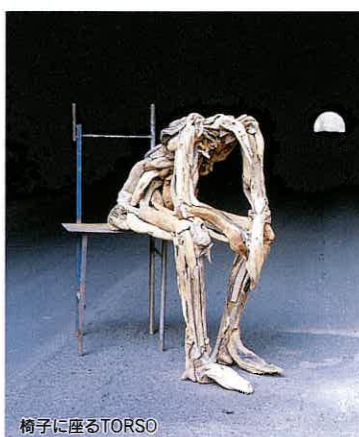
■TORSOを作り始めたきっかけは?

河岸を歩いていて、そこに流木が落ちてたからさ。気がつくときそれを拾い集めてた。鉱脈にぶち当たった鉱夫のようにね。家に持ち帰り、2週間と8日間ずっと眺めてたんだ。木片の穴から空をのぞくと、古代が見えた。僕等がここにやってくるそのずっと前の、シダとか藻として生きてた頃の記憶がね。

その後、枝を一本つぎたして背骨にして、どこかの森の鳥の巣だったのか穴のあいだにヤツなんかを手当たり次第つなぎ合わせていったんだ。

それがどんな形の、どこからやって来た、なんて名前の人類なのか、ヒトなのかなんて考えられなかったし、とにかく地面に直立した…、記憶以前の…、そんなヤ

ツが突然目の前に突っ立ってたわけさ。「こりゃヤバイ」ってそのときは思ったよ。表現行為として複雑性に満ちたひとつのプロセスだと思う。自分が本当に何を求めているのかを知るための。



椅子に座るTORSO

人間が自らの姿に似せて像を作るっていう歴史は、ずっと繰り返されてきたわけで、すごくおもしろいことだと思う。そういう意味で現代に特徴的な表現方法というのはあって、ひと言で言えば、ジョン・ケージ的なんだ。

PICK・UP (ピックアップ)の手法。世界の表在中から表現を拾い出す、すくい取るって事かな。

僕にとって影響を与えられたものは沢山あるけど、後天的にはROCKという音楽形式とアメリカ抽象絵画は大きかった。これは作品を作り出す上で無視できない要素だと考えている。

■TORSOと流木…?

僕にとって新しいもの、見知らぬもの、何かエッセンシャルな要素を感じさせるもの、それは今、古代が運んでくる何かなんだ。古代的でありつつ未来的である

ダルムシュタット・アンサンブルの室内楽

インゴ・デ・ハース、山田百子、瀬尾麗、岩本忠生、大西雄二、加藤洋之による音楽的ダイアローグ



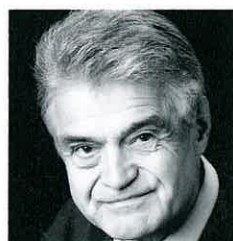
ダルムシュタット・アンサンブル(丸枠内は加藤洋之氏)

室内楽は会話のある民主的な

ポリフォニー芸術

室内楽は難解で取っつきにくいという声を聞く。TVの視聴率も音楽番組中一ケストラで一〇%、室内楽は一〜二%が表情だ。「室内楽の特色は作曲家、奏者、聴衆の間に会話と似た機能を持つコミュニケーションがあることです。作品は個人的、告白的でなおかつ真面目で、音楽的職人芸を駆使した芸術性の高いものが多いです」(M.S.シシロロ氏)。ゲートルは弦楽四重奏を「四人の理性的な人の会話」と表したが、よい演奏はそれ以上に進んで告白、偽りのない音楽の極め付きといえる。

昔、諸侯君主は教養として鍵盤や弦楽器の演奏能力が必要とされ、宮廷に招か



ユルクバヴァア:オルガニスト、作曲家。オーケストラ曲、室内楽曲、合唱曲等、作品多数。音楽学分野の論文も多数。ケルン音大作曲科教授・テュッセルドルフ音大学長を歴任。



ミハエル・シュトルック=シュロロ:音楽ジャーナリスト。音楽劇、現代音楽文化政治を重点に著作多数。ケルン放送クラシック番組パーソナリティー。

れた音楽家と合奏を楽しんだ。こうした個人的拘りから特別な編成の曲が書かれた。ここで当然作者、奏者、聴衆間で共通の背景を持つダイアローグが生きてくる。従って第三者には内容のわからない会話や方言や外国語と接したような不可解さがあっても不思議ではない。「ポリフォニーの芸術です。少ない音色変化で旋律線の多様性が表現されます。柔らかく透明感のある響きを持つものの複雑な要素を持っていきます。オーケストラは指揮者で成り立ち独裁的ですが、室内楽は各々独立した奏者の自主性に依存する特徴があり民主的です」(J.バウア氏)。

内藤間喜

室内楽の魅力とそのサンプルDE (ダルムシュタットアンサンブル)

「室内楽は様々な編成、各奏者の個性と高密度のアンサンブル、室内楽ならではの即興性が楽しめます。とにかく名曲が多いです」(四方氏)。「室内楽はオーケストラ作品では決して表現できないきめ細かい音楽的ニュアンスが魅力の全てといえます」(石井氏)。最近のDEのマスコミ評を見る。「果てしなく遠くから聞こえ始め、目の前まで迫って来るかのように奥深い立ち上がり方をする」、「音楽的求心性とアンサンブルの緻密さを実現した室内楽」、「才能を誇示するタイプでない心がなごむ親しいアンサンブル」と、室内楽の魅力の例がここに集約されている。「DEの特徴は家庭的な響きと、言ってみれば、細やかな演奏がごく近くで心地よい音でいろいろなることを語りかけてきます」(石井氏)。同氏はDEの面々とは知己である。



四方恭子:ヴァイオリニスト。ケルン放送交響楽団首席コンサートマスター。芸大在学中安宅賞受賞。シュボア国際コンクール第1位、CD録音、室内楽演奏会等で活躍。

ライブで楽しむ室内楽

室内楽は少なくとも演奏の際に奏者全員が同じ観念から出発乃至は一つの観念に同調しているのだから無意味である。聴く側にとってはアンサンブル独自



石井真木:現代を代表する国際的作曲家。世界各地の一流オケが石井作品を頻りに演奏。最新作「バレエ」(舞夜姫)は欧米、日本で大成功を収める。現在、新国立劇場記念委嘱作品「バレエ音楽」(舞夜姫)を作曲中。

の響きを確認するだけではなく、他に代替できない解釈文化を認識することである。DEの奏者は、舞台上で演奏している時と日常でのコミュニケーションとの間に何の違和感もない。ホームドラマのような和やかさ楽しさのあるDEは、その演奏でも「音楽をライブで楽しむことは、音楽の本質に拘わる人間の営み」(石井氏)を奏者自ら具現化している。「旅と死」という人間の営みを中心テーマであったシューベルト。今夏その作品を彼の生誕二〇〇年の年にDEがロゼで演奏する。

\*ポリフォニー=複数の声部がそれぞれ独立性を保ちながら動くこと

造形作家 岩崎永人 Nagato Iwasaki PROFILE

- |       |                             |    |                               |
|-------|-----------------------------|----|-------------------------------|
| 1953  | 山梨県南巨摩郡富沢町に生まれる             | 94 | 新進作家選抜展(山梨県立美術館)              |
| 80-83 | グループ展(原宿・ギャラリー悦)            |    | 山梨県立美術館賞                      |
| 83    | 個展(国立ギャラリーアイ)               |    | 「ヴィンヤナムの納屋」(池袋・西武・STUDIO5)    |
|       | 個展(ギャラリー銀座三番街)              |    | BOX展グループ展(富士・DEPOT103)        |
| 84    | 野外個展(関内・大通り公園)              |    | キリンコンテンツギャラリー・アワード'94         |
| 85    | 「TUBE」グループ展                 |    | (キリン横浜ピアビレッジ及びキリンプラザ大阪)審査員特別賞 |
|       | 個展(横浜市民ギャラリー)               |    | 「水性」個展(富士・DEPOT103)           |
| 90    | 富士ART PICNIC                |    | DRAWING・WORKS(富士・DEPOT103)    |
|       | 以後毎年、ART SESSION            |    | 「TORSO1-27」個展(キリンプラザ大阪)       |
| 92    | 富士芸術クラブ展(富士・DEPOT103)       |    | 「TORSO1-34」個展                 |
| 93    | 「シダ脳」個展(富士・DEPOT103)        |    | 新進作家選抜展(山梨県立美術館)              |
|       | 「シダ脳」個展(PLANTATION)         |    | 「TORSO1-34」個展                 |
|       | アイデンティティ展グループ展(富士・DEPOT103) |    | (キリン・アートスペース原宿)               |
|       |                             |    | フィレンツェ・ビエンナーレ'96              |
|       |                             |    | (コラボレーション with ヨージ・ヤマモト)      |



カードゲームをするTORSOの作者

マンドリン製作・演奏家  
内藤間喜  
Yasuyoshi Naitoh PROFILE  
富士市出身、現在ドイツ・ケルン市在住  
海外のさまざまな文化情報を新しい切り口で取材し、レポートを送っていただいています。

ROSE THEATRE・EVENT CHECKLIST

1997年5月・6月・7月の催し物のご案内  
財団自主事業をはじめ、一般読者事業を含めたスケジュールです。

INFORMATION

1997 5 MAY

日	曜日	ホール	イベント
3	土	小	ピアノ発表会(佐野温子)
4	日	大	ネットワークマーケティングセミナー
		中	第11回信友会歌謡祭
		小	ピアノ発表会(川嶋伸子)
5	月	小	第8回スプリングコンサート
10	土	中	紙の街富士フェスティバル 森進一コンサート
		小	第11回サンソングコンサート
11	日	大	'97伊藤美智子パレスタジオ発表会
		中	井澤学園ピアノ発表会
		小	ピアノ発表会(大石知香子)
12	月	小	平成9年度古原美音組合総会
15	木	小	富士市生涯学習推進連合会総会
18	日	大	秋山パレ発表会
		小	'97MAYコンサート
20	火	小	第35回富士環境衛生自治推進協会総会
21	水	大	教育講演会
		小	富士市民生児童委員協議会全員研修会
23	金	中小	茶道裏千家淡交会第33回東海地区大会
24	土	中大	茶道裏千家淡交会第33回東海地区大会
		大	日蓮正宗法華講連合会静岡地区第4回総会
25	日	中	第21回コーラスフェスティバル
		小	音読発表会
		小	吉原小学校音楽鑑賞会
29	木	小	平成9年度富士市町内会連合会総会
		小	平成10年3月新規学校卒業予定者求人説明会
30	金	小	日本歌曲の夕べ 第2夜
31	土	中	静教組富士支部定期大会
		小	★青木裕子トークコンサート vol.3

※一般読者事業については、平成9年3月下旬までの受付分です。  
各ホールでのイベントや展示などの日程は変更になる場合があります。  
★はロゼシアター主催事業 ★印は、ロゼ・チケットセンター窓口でもチケットを取扱う予定のものです。

1997 6 JUNE

日	曜日	ホール	イベント
1	日	大	劇団ピッカリ座ぬいぐるみミュージカル
		小	第11回ピアノ・エレクトーン発表会(宇佐美利恵)
3	火	小	富士市国体準備委員会常任委員会第2回総会
7	土	大	富士市立吉原商業高校音楽鑑賞会
		中	母と子のための音楽会(井澤学園)
		小	アンサンブル・ヴァリエ コンサート
8	日	小	岩本泰生歌謡ショー
12	木	小	富士市中学校体育連盟理事会
13	金	大	男・花の三人衆
		小	ピアノ発表会(伊賀輝子)
14	土	中	高木産業QC決勝大会
		小	第7回びっこころんちえと
15	日	大	静岡県歌謡グランプリ大会(全日本歌謡連盟)
		中	池坊全国巡回講座
		小	第23回小さな音楽会(市村ひろみ)
18	水	大	富士信用金庫 講演会
20	金	大	和讃大会(日蓮宗静岡中部法華和讃振興会)
		小	★チェコ弦楽三重奏団
		大	富士交響吹奏楽団第49回定期演奏会
21	土	中	第18回安全大会(静岡県クレーン建設工業組合)
		小	ピアノ発表会(古郡昌子)
22	日	中	★ローゼンコール富士第2回演奏会
		小	ピアノ・エレクトーン発表会(佐々木由美子)
25	水	小	日本歌曲の夕べ 第3夜
28	土	中	ものけ姫 映画試写会
		小	第14回ファミリーコンサート
		中	琴奏発表会(横山町子)
29	日	小	佐野音楽発表会
		小	青山学院大学静岡県東支部総会

1997 7 JULY

日	曜日	ホール	イベント
1	火	中	建設業労働災害防止安全大会
2	水	大	小学生招待コンサート
3	木	中	岳南法人会女性部会研修講演会
4	金	小	仲代圭吾 & 行代美都コンサート
5	土	小	湖山病院公開講座
		中	ジャズダンス発表会(サトミジャズスタジオ)
6	日	小	教育講演会
		小	ピアノ発表会(松本一恵)
10	木	大	新日本フィルハーモニー交響楽団
11	金	大	中学生招待コンサート
		中	ジャズ・スーパーインプレッション
12	土	小	ドレミ音楽会(鈴木千鶴子)
		大	富士市女性夏期大学
13	日	中	カンタービレ・ローズ コーラス発表会
		小	ピアノ発表会(佐藤真理子)
18	金	中	びっくりに箱コンサートIV
19	土	小	ピアノ発表会(川村陽子)
		大	静岡県文化歌謡連盟発表会富士大会
20	日	中	ぬいぐるみ劇団カツノ窪公演 平成竹取物語かぐや姫
		小	富士まつりミスかぐや姫コンテスト
		大	第6回東海大学第一高等学校富士地区特別演奏会
21	月	中	フラワーコンサートX・特別演奏会
		小	ピアノ発表会(海田理恵)
23	水	中	親子まんか映画会
		小	第29回ロゼ寄席
24	木	中	平成9年度富士市建設業者研修会
26	土	小	ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ合同発表会
27	日	小	大正琴発表会(石川たつよ)
30	水	大	小学校音楽発表会
31	木	大	平成9年度青少年会議

ロゼ掲示板

●書籍のご案内

今回は、当財団の芸術委員であります水落潔氏と佐々木晃彦氏の著書をご紹介します。(各著書はロゼチケットセンター情報コーナーでご覧いただけます)

著者：水落 潔 (社)日本演劇協会理事)

- 1 「上方歌舞伎」 東京書籍 (1990年) 1,800円
- 2 「平成歌舞伎俳優論」 演劇出版社 (1992年) 3,600円
- 3 「歌舞伎鑑賞辞典」 東京堂出版 (1993年) 2,600円
- 4 「幸四郎の見果てぬ夢」 毎日新聞社 (1996年) 1,600円
- 5 「演劇散歩」 演劇出版社 (1996年) 2,548円

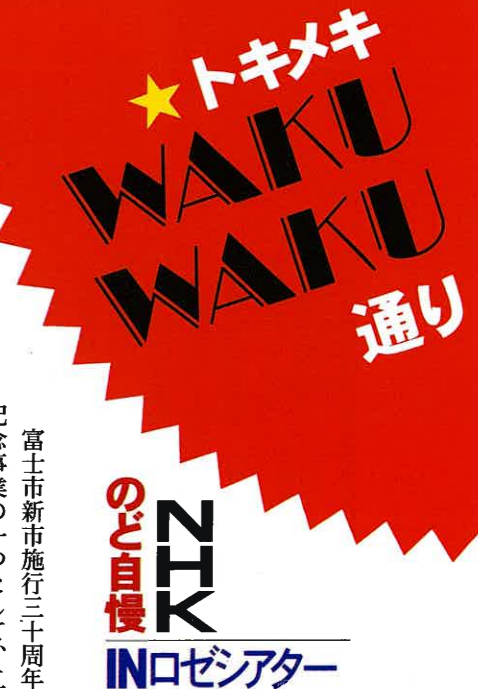
著者：佐々木晃彦 (九州共立大学経済学部教授)

- 1 「豊かさの社会学」 丸善ライブラリー (1994年) 680円
- 2 芸術経営学講座全4巻シリーズ 「美術編」「音楽編」「演劇編」「映像編」 東海大学出版会 (1994年) 4巻で11,639円
- 3 「企業文化とは何か」 北樹出版 (1994年) 2,600円
- 4 「南仏プロヴァンス物語」 丸善ブックス (1995年) 2,000円
- 5 「芸術経営学を学ぶ人のために」 世界思想社 (1997年) 2,500円
- 6 「文化経済学への招待」 芙蓉書房出版 (1997年) 2,200円

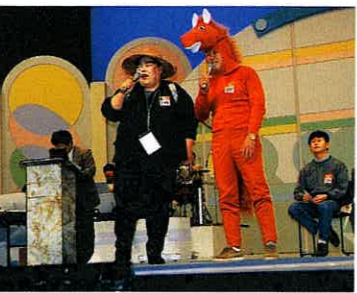


富士市新市施行三十周年記念事業の一つとして、二月二日(日)にNHKのど自慢公開生放送が大ホールで行われました。前日の予選会では、多数の出場希望者の中から書類選考を通過した二百五十組が出場。あつと驚く工夫を凝らした衣装で登場したり、思い出のたくさんつまった曲をパフォーマンス付きで披露したり、予選通過を目指しての熱唱でホールは熱気ムンムン。

本番に出場できたのはわずか二十組。当日の朝、音合わせやリハーサルを行っている出場者たちははやや緊張しながらも準備万端だったといった様子でした。ゲストの森進一さんと由紀さおりさんもロゼに到着し、音合わせ、衣装合わせを終えて、いよいよ本番に向かって緊張感が高まります。午前十一時になると、観覧者の入場が始まり、あふれんばかりの勢いでホールはあつとという間に満席になりました。午後十二時十五分。おなじみののど自慢のオープニング曲が手拍子とともにホ



ールに響き渡り、宮川アナウンサーの司会で「のど自慢」の生放送のスタートです。予選を通過した二十組の出場者たちは、ここぞとばかりに自慢ののどを披露し、ホールには出場者の応援団が、手作りの横断幕を掲げて大声援を送る姿も見受けられました。今回、見事チャンピオンに輝いたのは「桃色吐息」を熱唱した南伊豆町の高校生石田千鶴さん。名前を呼ばれたとき、思わず涙ぐんだ姿が印象的でした。皆さん、お疲れさまでした。



展示室のご案内

展示期間	展示室	催事
4/29~5/18	一般 特別	ピーター・リンドバーク写真展
5/26~6/1	一般 特別	富士市美術協会 絵画展
6/3~8	一般	第7回 富士能面展
6/7~8	一般 特別	小原流富士支部青年部10周年記念花展
6/9~15	特別	樹林の会 手芸展「6月の詩」
6/9~15	一般	富士市退職教職員趣味展
6/20~29	一般 特別	岩崎永人展
7/1~6	一般 特別	「富士の型染」第31回定期展
7/9~13	特別	稲葉哲之 絵画展
7/11~13	一般	花わらべ樹脂粘土の花展
7/16~20	一般 特別	平成9年度富士市展(前期)
7/23~27	一般 特別	中学校美術展・市立幼稚園展
7/30~8/3	一般 特別	平成9年度富士市展(後期)

お便り募集

皆さんに愛読いただいている文化情報誌「ロゼ」が、次号(夏号)で20号となります。そこで、「ロゼ」発行20号を記念して、お便り・メッセージを募集します！  
・テーマ 「ロゼ」発行20号達成に寄せて(「ロゼ」に関する思い出や出来事など、何でも構いません。)  
・お問い合わせ・あて先  
ロゼシアター事業課広報係  
〒416 富士市藤原1307-8  
☎0545-60-2513 FAX0545-60-2505  
たくさんのお便りをお待ちしております。  
※FAXでも受け付けます。

7月10日(木) 大ホール  
指揮/井上道義  
パリトン/福島明也  
開場/18時30分 開演/19時  
入場料/S席5,000円 A席4,000円  
(学生2,000円) 全席指定



program ロッシーニ/歌劇「セビリアの理髪師」  
モーツァルト/歌劇「ドン・ジョヴァンニ」  
(パリトン独唱:福島明也)  
ブラームス/交響曲第4番小短調op.98

イベントガイド  
ここが見どころ

春の訪れとともに、ロゼも新年度をスタートとした。開館三年目を過ぎたばかりで、自主事業の中に初めて扱うジャンルも、新しい企画を企画した時、チケットの売れ行き、入場者の感想などが気になる。内容がよくて空席が多かった時のお客様の声に、こんなことがあるのかなと素直に悩む。なぜ空席があるのか、宣伝不足なのか、または、我々が落ち込むのはこんな時。まだまだ未熟なんだと思う。このたび財団内で一部スタッフの入れ替えがあった。新たな体制でさらなる発展を願う。この機会に、来る二十一世紀を見据えての企画。来館時には温かい目で見てやって下さい。(一)

編集後記  
春の訪れとともに、ロゼも新年度をスタートとした。開館三年目を過ぎたばかりで、自主事業の中に初めて扱うジャンルも、新しい企画を企画した時、チケットの売れ行き、入場者の感想などが気になる。内容がよくて空席が多かった時のお客様の声に、こんなことがあるのかなと素直に悩む。なぜ空席があるのか、宣伝不足なのか、または、我々が落ち込むのはこんな時。まだまだ未熟なんだと思う。このたび財団内で一部スタッフの入れ替えがあった。新たな体制でさらなる発展を願う。この機会に、来る二十一世紀を見据えての企画。来館時には温かい目で見てやって下さい。(一)

春の訪れとともに、ロゼも新年度をスタートとした。開館三年目を過ぎたばかりで、自主事業の中に初めて扱うジャンルも、新しい企画を企画した時、チケットの売れ行き、入場者の感想などが気になる。内容がよくて空席が多かった時のお客様の声に、こんなことがあるのかなと素直に悩む。なぜ空席があるのか、宣伝不足なのか、または、我々が落ち込むのはこんな時。まだまだ未熟なんだと思う。このたび財団内で一部スタッフの入れ替えがあった。新たな体制でさらなる発展を願う。この機会に、来る二十一世紀を見据えての企画。来館時には温かい目で見てやって下さい。(一)

楽器表紙インタビュー  
テナーサクソフーン奏者  
小野 卓卓さん 富士市在住

春の訪れとともに、ロゼも新年度をスタートとした。開館三年目を過ぎたばかりで、自主事業の中に初めて扱うジャンルも、新しい企画を企画した時、チケットの売れ行き、入場者の感想などが気になる。内容がよくて空席が多かった時のお客様の声に、こんなことがあるのかなと素直に悩む。なぜ空席があるのか、宣伝不足なのか、または、我々が落ち込むのはこんな時。まだまだ未熟なんだと思う。このたび財団内で一部スタッフの入れ替えがあった。新たな体制でさらなる発展を願う。この機会に、来る二十一世紀を見据えての企画。来館時には温かい目で見てやって下さい。(一)

INTER MISSION

●キープパレエ(96.12.7) ●グレンミラーオーケストラ(97.3.26)公演より

馴れ初め?はグレンミラー  
川成島よりお越しの木村弘志さん、悦子さんご夫婦。グレンミラーはお二人にとって思い出の楽団。「響きよし、バンドよし、雰囲気よしで今夜は最高でした」とお二人で口をそろえてニコリ!

将来の夢はプリマドンナ  
キープパレエ「眠れる森の美女」に芝川からお越しの近藤恵子さん母子。長女の霞ちゃん、次女の和ちゃんは今パレエスクールに通い、パレリーナを夢見ています。

成人の思い出にパレエ鑑賞  
富士市の中里の鈴木はるなさん。今年成人を迎えました。この日は着物姿を写真に撮った帰り。はるなさんの着物姿はキープパレエ団員にとって日本公演の思い出になったことでしょう。

チケットのお申し込み・お問い合わせは  
ロゼ・チケットセンター  
☎0545-60-2500 受付時間 9:00~19:00

■すみや 富士本店 ☎(0545)63-2233	■チケットセンター ☎(0559)61-2405	■ユニバーサービスカウンター 吉原店 ☎(0545)51-9027(代)
■富士中央店 ☎(0545)60-4567	■カワセ書店 鷹岡店 ☎(0545)71-9592	■富士宮大宮店 ☎(0544)24-0255(代)
■富士駅前センター ☎(0545)61-6262	■富士宮・宮原店 ☎(0544)24-7160	■三島店 ☎(0545)51-5227
■ラホール富士 ☎(0545)53-4300	■タナワ楽器富士店 ☎(0545)52-1586	■三島店 ☎(0559)73-3003